

## 警察署協議会会議録

飯塚警察署協議会

開催年月日時	令和6年2月13日 午後4時00分 から 令和6年2月13日 午後5時30分 まで
開催場所	飯塚警察署3階会議室
出席者	警察署協議会 会長以下7名
	公安委員会 山本公安委員長
	警察署 署長、副署長、会計管理官、地域管理官、刑事管理官、総務課長、会計課長、生活安全課長、刑事第一課長、刑事第二課長、地域第三課長、交通第一課長、交通第二課長、警備課長、直轄隊小隊長、事務局（16名）
議 事 概 要	
<p><b>【開会】</b>  <b>【会長挨拶（要旨）】</b>  ○ 本日は、飯塚警察署協議会委員の皆様、飯塚警察署の皆様には大変お忙しい中、多数御参加いただき、感謝申し上げます。  ○ 能登半島地震が発生して1か月以上が経過した。募金活動やボランティア参加など日本全体で被災地を応援していこうという輪が広がっている一方、被災者を狙った悪質商法や窃盗などの犯罪が発生していると聞いているので、警察には、治安維持に力を入れていただきたい。</p> <p><b>【懲戒処分事案の説明】 署長</b>  ○ 2月8日に当署職員が窃盗被疑者として検察庁に任意送致された。同職員は停職6か月の懲戒処分となり、同日付けで辞職している。  ○ 警察を信頼し、期待していただいている地域の皆様に誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げます。  ○ 今回の事案は、警察に対する信頼を著しく失墜させるものであり、信頼回復に向けた再発防止対策は当然であるが、これにより仕事の手を緩めることなく、引き続き地域の安全を確保するため、犯罪抑止や交通事故防止に向けて全力で活動していく所存である。</p> <p><b>【管内の治安情勢報告】 署長</b>  ○ 令和5年中の当署管内の刑法犯認知件数については、前年比プラス39%と増加しているが、ピーク時である平成14年と比較すると約80%減となっている。しかし、平成14年から減少傾向であったが、令和5年に増加に転じた。</p>	

議 事 概 要

- 発生の割合としては、窃盗が約70%、暴行・傷害等の粗暴犯が約10%、器物損壊が約10%、詐欺が全体の約5%であり、これらの犯罪で全体の92%を占めている。
- 著しく増加しているのは、自転車盗などの乗り物盗であり、駅の駐輪場で、無施錠の自転車の盗難が多く発生している。  
盗難多発場所に高校生が作成した盗難防止ポスターの掲示や、無施錠の自転車に啓発ステッカーを貼り付けるなどの予防対策を実施したところ、年末には発生をかなり抑えることができた。
- 検挙率については、全体で39.5%、凶悪犯については100%である。
- ニセ電話詐欺については、令和5年中の当署管内の被害件数及び被害額は、いずれも大幅に増加している。  
今年に入ってから認知件数が急増しており、県下では、1月末で被害件数が52件、被害額約2.9億円という危機的状況となっている。
- 当署管内の1月の“アポ電”と言われる予兆電話の認知件数は、県下で1位の数字となっている。  
多数のアポ電を認知した際には、マスコミを通じた発生の広報や、飯塚市に防災無線で注意喚起してもらうことで、多くの方に発生の周知を行っている。  
そのため通報件数が増えたものの、予防につながったと考えている。
- 交通事故情勢については、令和5年中の人身事故発生件数は、前年比マイナス13件であるが、この交通事故により2名の尊い命が失われており、引き続き取り組むべき課題は残っている。
- 本年も、地域の安全・安心の確保に向けて、全力で活動を進めて参りたいと考えている。飯塚市、桂川町、各機関・団体、事業者の皆様と連携しながら、治安の改善を図る所存である。

**【報告事項】**

- 1 警察署協議会会長連絡会議結果報告について
- 2 警察署からの報告事項
  - (1) ストーカー対策について
  - (2) 能登半島地震における広域緊急援助隊の活動状況について

**【質疑応答】**

- 委員から「被災地である石川県には、飯塚署からどのくらいが派遣されたのか。」旨の質疑に対し、直轄隊小隊長から「当署からは、直轄隊全員が広域緊急援助隊として派遣された。」旨の回答があった。

議 事 概 要

- 会長から「人命救助や遺体の捜索以外の任務はあるのか。」旨の質疑に対し、直轄隊小隊長から「当隊は、各家屋をまわって安否確認を行う予定であったが、大雪の影響で移動に時間がかかり、安否確認の任務は行うことができなかった。」旨の回答があった。
- 委員から「朝倉での豪雨災害の際は、飯塚署からの派遣はあったのか。」旨の質疑に対し、警備課長が「当署からも派遣された。」旨の回答があった。

**【飯塚警察署の業務運営に対する意見要望】**

- 会長から「福岡県では、飲酒運転の情報提供が義務化されているが、そのことを知らない方も多いと思うので、認知するポスターがあったら良いと思う。」旨の要望及び「飲酒運転のポスターは表現が柔らかいものが多い。飲酒運転の怖さを視覚的に訴えかけるようなポスターがあれば、多くの人に足を止めて見てもらえるのではないか。」旨の要望がなされた。

**【公安委員長講評】**

- 飯塚警察署協議会委員の皆様には、警察活動に御協力いただき感謝申し上げます。公安委員会としても、警察署協議会が活発に活動することを希望している。機会があれば、今後も警察署協議会に出席させていただきたい。
- 警察署協議会会長連絡会議では、粕屋警察署、博多臨港警察署、直方警察署それぞれの警察署協議会の活動内容が発表されたが、いずれも警察署協議会の場で意見要望を出すことによって、改善することができたという内容であった。警察署協議会には、地域の代表の方々に集まっていたいただいているので、気付いた点などがあれば意見を出していただきたい。
- 令和6年福岡県警察運営指針は、昨年までと大きく違う点がある。昨年までは「最重点目標」と「重点目標」の2つに分けていたが、今年は、県民に分かりやすくするため「活動重点」として1つにまとめる形にしている。
- 警察署から「ストーカー対策について」の報告があったが、「相手の気持ちを考えられるか」など規範意識や社会性をしっかりと持つことが、事案の発生、拡大抑止につながると考える。  
ストーカー対策は、今後、ますます複雑化していくと考えられ、社会全体で考えていかなければならない問題だと感じた。
- 福岡県警察では、被災地支援のため、地震発生から逐次、部隊を石川県に派遣しているが、福岡県警察は当初冬用タイヤを装着せずチェーンで対応していたことを知った。  
今後、特に大型車両が緊急援助に行く際は、冬用タイヤを装着するよう改善が必要だと感じた。

議 事 概 要

○ 今後とも警察署協議会に御協力いただき、御意見を出していただきたい。

**【閉会】**

以上で、第1回飯塚警察署協議会を閉会する。